

## 第 214 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 14 期第 7 回)

日時：2016 年 4 月 23 日 (土) 13:00~18:10

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス来往舎 小会議室

出席者：萩原 (会長)、林 (副会長)、堀口 (事業)、川本 (会誌)、三河 (広報)、片上 (将来構想・他学会連携)、橋山 (大会事業)、伴 (賞選考・女性会員)、星野 (電子化検討)、金久保 (会計)、井上 (会計監事)、徳丸 (事業監事)

欠席者：中川 (副会長)、彌富 (庶務) (敬称略)

### 議題

#### 1. 議事録の承認 (資料 214-0: ML にて承認済)

- ・ 異議なく承認された。

#### 2. 震災に伴う FSS2016 の開催対応について (資料 214-1: 萩原)

- ・ 熊本開催を断念し、九州支部より提示された代替案から開催地を選ぶことにした。どちらで開催するかについては九州支部の意向を尊重する。会期は変更しない予定。
- ・ 橋山理事が九州支部副支部長の重井先生 (鹿児島大学) に連絡をとり、開催計画の詳細をつめることになった。
- ・ 講演申込締切日を 5 月 13 日から、5 月 31 日(火)と延期することとした。
- ・ 4 月号の FSS2016 の会告を修正する。
- ・ 被災者支援策として、熊本エリアからの参加者に対して参加費・登壇料を全額免除するという案を理事会から FSS2016 実行委員会に提案する。また、シンポジウム会場に参加者からの義援金を集めるボックスを設置する。義援金の支払い先は熊本県などの自治体とする予定。

#### 3. 学会 web の更新について (持込資料: 三河)

- ・ サイト設置費用と月額保守費用の見積もりを 2 業者に依頼した。
  - 業者 A (個人事業主)
  - 業者 B
- ・ 業者 B の見積書がまだ得られていないが、業者 A の方が安価できめ細かなサポートを期待できる。ネックは特定個人に管理を任せることのリスク。たとえば、立ち上げと運用管理で業者を分けてリスクを分散することが考えられる。

#### 4. FSS および SCIS の投稿サイトについて (資料 214-2: 星野 4/1ML)

- ・ 引き続きデモサイトのフィードバックを受け付ける。
- ・ 会員管理システムと切り離されることにより、請求書や領収書の発行機能などが使えなくなり、結果として事務局委託業務が増える可能性がある。代替機能について星野理事が調査・検討する。

- 現行の会員管理システムのデータのバックアップをどうするのか、学会 SNS にアップロードされた動画・写真・pdf等のデータをどうするのか、について検討する必要がある。星野理事が業者と打ち合わせ、対応策を検討する。
5. 委員会・支部・研究部会 H28 事業計画について（資料 214-3: 堀口）
- 学会活性化のために本部が重点的に取り組むべき課題として、萩原会長より下記の事項が挙げられ議論された。
    - Web の刷新
    - 学会誌の充実
    - 若手およびシニア世代の活躍の場の提供
  - シルバー部会
    - H28 事業計画に組み込む。萩原会長が研究会の事業計画の素案を作成し、研究会のとりまとめをお願いする馬野先生にお諮りする。
  - ANGLE
    - H28 事業計画書（資料 214-3, p.39-40）にあるとおり、6 大学から 10 名のメンバーが集まっている。引き続きメンバーを募集しているので、ANGLE で活動することに興味をもちそうな学生がいれば紹介いただきたいとの依頼が堀口理事よりあった。
    - FSS2016 での開催を予定している若手研究者交流会について、現地メンバーがいた方が円滑な開催が期待できるため、FSS2016 の開催地が確定した後に、現地委員の方々に協力を依頼する。
6. IFSA-SCIS 2017 におけるサマースクール（仮称）の主催について（資料 214-4: 堀口）
- サマースクール（仮称）を SOFT 主催事業として実施することが承認された。
  - 熊本・大分地震の影響で急遽 FSS2016 の開催地変更に応じていただいた現地委員の方々にファジィ学問塾の開催にも協力いただくのは申し訳ないため、2017 年の学問塾は開催しない予定。サマースクールを国際版ファジィ学問塾と位置づける。サマースクールをシリーズ化するかどうかについては、2017 年の取り組みの結果を見て検討する。
  - サマースクールに対する学会の金銭的負担については、堀口理事が窓口となって IFSA-SCIS 2017 実行委員会と調整し、次回以降の理事会に諮る。
7. ブレイン・コンピューティング研究部会の名称変更（資料 214-4: 堀口）
- H28 事業計画書（資料 214-3, p.32-33）にあるとおり、「しなやかさ行動学研究部会」への名称変更の申請があったが、この名称の修正が明らかになったため、その修正申請後にメール審議で対応することになった。
  - 研究部会規程第 3 条 2 項によれば、研究部会の設置期間は 4 年以内であり、それ以上の継続は理事会の承認を得ることが求められている。現在この手続きがあいまいになっているため、毎年 3 月の年度末書類提出の案内時に継続／廃止／変更の選択肢を提示し、提出書類の種類によって各研究部会の意思を確認することになった。

8. SOFT 研究推進支援事業（前理事会からの引き継ぎ）【継続】（持込資料：片上）
  - ファジィ理論やソフトコンピューティングの分野に限定せず、それらの周辺を含む、広く「あいまいさ」が関係する研究分野を対象として、学生や若手研究者を主なターゲット層とした支援にしたかどうかという事になった。予算を新たにつけることも考慮にいれ、新たな支援事業として案を作成することになった。
  - 将来構想フォーラムは、過去 2 回の実施で非常に多くの意見を頂けたので、今年度は行わないことになった。ただし、2 年に一回ぐらいは行うとよいだろうという事になった。
  - 第 2 回将来構想フォーラムの結果を会員に周知するために、会誌への報告記事の寄稿を検討することになった。
  
9. 14 期後期活動に向けて【総括】（含 総会準備）【継続】
  - 議題 5 と重複したため議論が省略された。
  
10. IFSA2017 の共催について（林）
  - SOFT が IFSA-SCIS 2017 の共催団体になることが承認された。
  - 他の SCIS と同様に、協賛依頼業務を SOFT 事務局に委託する。
  
11. WCCI2016 での IFSA2017 報告について（林）
  - 林副会長の代理で IFSA2017 の開催計画について WCCI2016 で開催される IFSA 理事会、及び、WCCI2016 懇親会での報告を依頼する候補者が推薦された。
  
12. 除名候補者の処分取り扱いについて（資料 214-5: 金久保）
  - 4 年以上の会費未納者は除名処分とすることが承認された。
  
13. 名誉会員からの掲載料免除依頼への対応（資料 214-6: 金久保）
  - 名誉会員からの投稿論文については、単著あるいは第一著者であることを条件に論文掲載料の半額免除を認めることが承認された。免除申請のための様式は金久保理事が用意する。学会ホームページ上で名誉会員の特典としてアナウンスする。
  
14. 次回理事会の開催について
  - 3 月の決算が確定する 5 月中旬以降に開催する。

## 報告

1. 広報委員会のメンバーについて（資料 214-R1: 林）
  - H28 広報委員会の構成が資料 214-R1（○のメンバーのみ）のとおり決定した。
  
2. FSS 開催サポート体制、ANGLE の整備について（堀口、橋山: 議題 5 : H28 事業計画に含む）

- FSS 開催サポート体制については報告が省略された。
- ANGLE については議事 5 を参照のこと。

3. 2016 年度 1, 2 月の月次決算 (資料 214-R2: 金久保)

- 報告省略。

4. 委員会・支部・研究部会 H27 事業報告について (資料 214-R3: 堀口)

- 報告省略。

5. 会誌発行計画 (資料 214-R4: 川本)

- 報告省略。

6. 学会誌の業務委託先, スタイルファイルの提供について (川本)

- 業務委託先については報告が省略された。
- LaTeX スタイルファイルの原案が作成され, 今後試用を通じて完成度を上げる予定であることが報告された。

7. 総会案内について (確認) (資料 214-R5: 川本 ML にて承認済)

- 報告省略。

8. シルバー部会について (資料 214-R6: 萩原 3/31ML)

- 議事 5 を参照のこと。

9. IFSA Council での役割分担について (資料 214-R7: 林)

- 資料 214-R7 のとおり IFSA Council の組織化が進められている旨の報告があった。

10. 特別会員の申請について (和多田先生, 渡瀬先生) (資料 214-R8: 林, 4/3ML 承認済)

- 和多田先生と渡瀬先生の特別会員資格取得を承認した。
- 従来でも非常勤は定職と認定していなかったが, 企業への顧問・臨時社員等も週に数回程度ならば定職と認定しないことが決定された。

11. 会員数 (3 月末) について (資料 214-R9 : 金久保)

- 報告省略。

以上